

農林水産商工常任委員会資料

(平成21年8月21日)

項目

- 1 まちなかビジネス創出支援事業の採択結果について
【経済通商総室(経営支援チーム)】 …… 1
- 2 境港・東海・ウラジオストク定期貨客船航路の運航状況等について
【経済通商総室(通商物流チーム)】 …… (別紙)
- 3 地域雇用創造実現事業(IT's Tottori Style 推進プロジェクト)委託先の採択について
【雇用人材総室(人材育成確保チーム)】 …… 2
- 4 平成22年3月新規高等学校卒業生の求人状況等について
【雇用人材総室(雇用就業支援チーム)】 …… 4
- 5 甲陽ケミカル株式会社境港工場からの劇物(塩酸)流出事故について
【産業振興総室(企業立地推進チーム)】 …… 5
- 6 三洋電機株式会社フォトニクス統括部の縮小等について
【産業振興総室(企業立地推進チーム)】 …… 7
- 7 水工場増設に係る笠原水環境影響評価委員会の設置について
【産業振興総室(企業立地推進チーム)】 …… 8
- 8 鳥取県企業誘致貢献者に対する知事表彰について
【産業振興総室(企業立地推進チーム)】 …… 9
- 9 農商工連携促進ファンド事業の実施状況について
【産業振興総室(新事業開拓チーム)】 …… 10
- 10 地域産業プロデューサー活用支援事業の実施状況について
【産業振興総室(新事業開拓チーム)】 …… 11
- 11 鳥取県東京ビジネスオフィスの移転オープンについて
【産業振興総室(新事業開拓チーム)】 …… 12
- 12 とっとり産業フェスティバル2009の開催について
【産業振興総室(産学金官連携チーム)】 …… 13
- 13 鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について
【市場開拓局市場開拓室】 …… 14
- 14 郵便局における「食のみやこ鳥取県」、「ようこそようこそ鳥取県」のPRについて
【市場開拓局市場開拓室】 …… 16

商 工 労 働 部

まちなかビジネス創出支援事業の採択結果について

経済通商総室
経営支援チーム

まちなかにおける創業支援の取組を行う民間事業者等（ビジネスインキュベータ）から「まちなかビジネス創出プラン」を募集・審査した結果、以下の2件を採択しました。

1 採択したプラン

プランの名称	実施エリア	ビジネスインキュベータ	プランの概要	実施期間
&A プロジェクト	米子市 四日市町～ 東倉吉町	(有)ディカンパニー ドラゴンブルー 代表取締役 土橋 彰臣	○空き店舗を活用し、自社の集客力を活かした複合商業ビルを開発。四日市エリアに集う若者に創業・発展の場を提供 ○代表者自身が、ビル全体・創業店舗の店づくり(コンセプト、外観、内装等)をプロデュース支援	H21.9 ～H24.8 (3年間)
DARAZ CREATE BOXを活用した まちなかビジネス プロデュースプラン	米子市 法勝寺町	(株)DARAZ 代表取締役 久保田 孝	○空き店舗を活用し、コミュニティFM等による情報発信拠点を整備。インキュベーション区画を設け若手起業家を育成 ○常駐プロデューサーによるビル全体での情報発信、各分野のプロである出資メンバーによる経営支援を実施	H21.9 ～H24.8 (3年間)

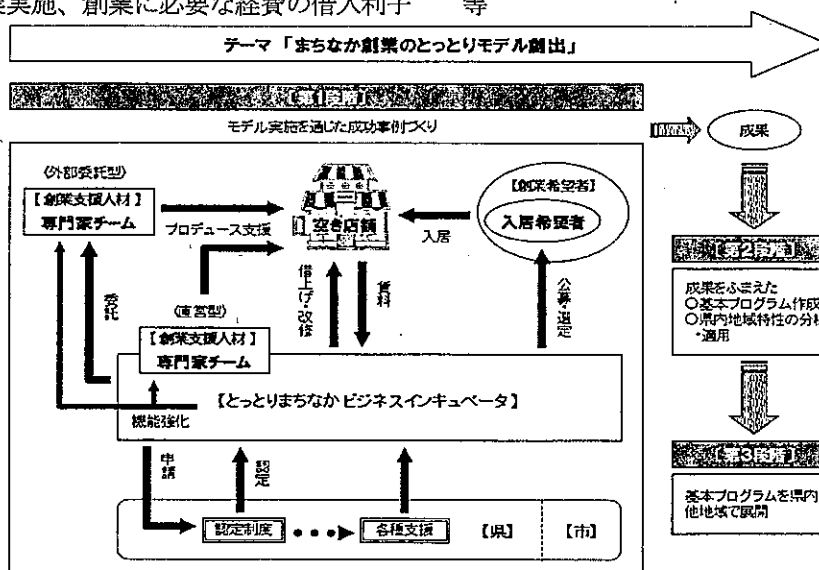
2 まちなかビジネス創出支援事業の概要（当初予算額：22,556千円）

県内商業の活性化を図るため、ビジネスインキュベータ（創業支援機関）、創業支援人材（店舗プロデュース等を実施）、行政の連携による中心市街地での成果重視型「まちなかビジネス創出スキーム」を構築し、モデル事業（最長3年間）を通じて成功事例づくりと県内での普及を目指す。

(1) プラン募集から支援までの流れ

- ①「まちなかビジネス創出プラン」の募集（募集期間：5月29日～6月30日）
【プランの条件】 ・まちなかの空き店舗を活用したインキュベーション事業
・創業希望者の掘り起こし ・創業支援人材による支援 の3点を実施
- ②「とっとりまちなかビジネス創出プラン」の採択、認定（認定日：8月7日）
【審査のポイント】
・コンセプトの独自性 ・プランの実現性、持続性、発展性
・プランの他への波及効果 ・実施体制の充実度
- ③補助金等による重点的支援（最長3年間）
【支援の主な内容】
・インキュベーション事業にかかる空き店舗賃借料、改修費、人件費等
・創業支援人材が行う店舗プロデュース、経営アドバイス等の支援経費
・事業実施、創業に必要な経費の借入利子 等

(2) スキーム図



地域雇用創造実現事業 (IT's Tottori Style 推進プロジェクト) 委託先の採択について

雇用人材総室
人材育成確保チーム

本年5月8日付けで国から採択された、鳥取県地域雇用創造協議会が実施する「地域雇用創造実現事業」の委託先を、次のとおり採択しました。

1 採択団体等 (市町村観光協会等 (8月4日採択)、県内IT事業者 (7月14日採択・7月24日契約済み))

(1) 市町村観光協会等 (ネット販売システムのカスタマイズ及び運用等の委託)

IT人材 (ネット販売及びマーケティングを担当する人材) を新たに雇用して、販売動向分析、商品認知度を高める方法やネットならではの顧客獲得方法などを立案・実践しようとする市町村観光協会等に対して、ネット販売システムの調整等及び運用を委託する。

(2) 県内IT事業者 (システムの開発及びマーケティング戦略支援等の委託)

市町村観光協会等が実施するネット販売に必要なシステム開発・サーバー管理を行うほか、ネット販売システムを構築・運用する観光協会等に対するIT技術及びマーケティング戦略の支援等について、県内IT業者に委託する。

《採択団体等の概要》

区分	団体名	所在地	雇用人数	事業テーマ及び概要
市町村観光協会等	境港市観光協会	境港市	1人	「IT's Tottori Style 活用による境港オリジナル通販・マーケティングシステムの独自構築&運用」 境港観光協会が取り扱っているゲゲの鬼太郎を利用した商品等のPR、販売促進に取り組み、年間5万件アクセスを目指す。
	(財)若桜町観光開発事業団	若桜町	1人	「今が旬、若桜の味覚、まるごと売ります。」 道の駅若桜で取り扱っている豚肉などを活用した特産品のPR、販売促進に取り組み。
	智頭町商工会	智頭町	1人	「智頭町みどりの風ネット」 智頭町観光協会が取り扱っている「スズハラ餅米」などの特産品のPR、販売促進に取り組み。
	八東地域振興(株)	八頭町	1人	「発掘します、ジゲの味覚 発信します、とつとりのうまいもん」 観光農園との連携などを通じて、道の駅はっとうで取り扱っている柿など特産品のPR、販売促進に取り組み。
	(財)大山恵みの里公社	大山町	1人	「大山の恵みインターネット通信販売事業」 道の駅大山恵みの里で取り扱っている大山そばなどの特産品のPR、販売促進に取り組み。
	伯耆町黒ぼくりゾート 大山高原協議会	伯耆町	1人	「伯耆町『黒ぼくりゾート大山高原』特産品ネット販売事業」 特産品開発やカタログ販売などを通じて「黒ぼくりゾート大山高原」ブランドを確立し、全国への浸透を目指す。
県内IT事業者	(有)ジャプロ	伯耆町	1人	① ネット販売システムを通じた売上増加対策 (アクセス数増・購入率増・購入単価増などの対策) ② 市町村観光協会等に対するマーケティング戦略支援を通じた販売促進 (年間を通じた販売促進、自社ネットメディアでの広告展開、紙メディアと連携した効果的なWeb活用など)
計	6団体、1事業者	—	7人	—

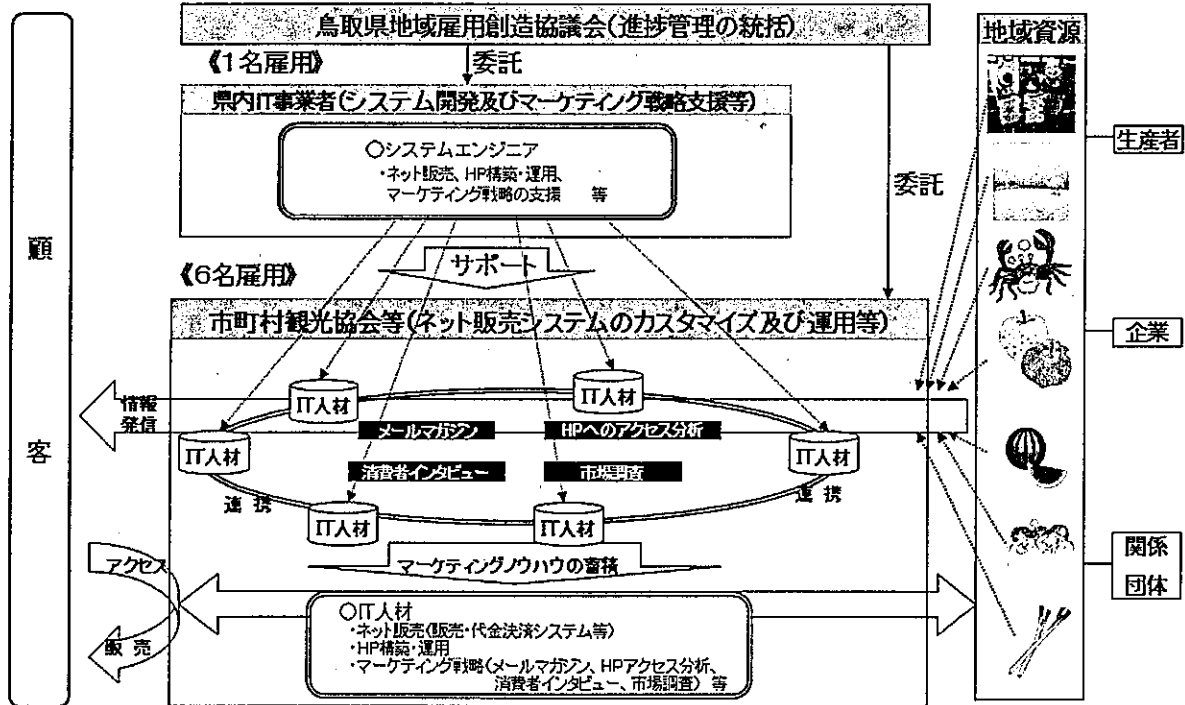
※ 雇用人数については、委託契約後に各団体において募集(8月中旬～9月初旬)し採用。

《事業イメージ》

- 事業期間 平成21年7月～24年3月
- 事業規模 114,641千円

7行イブ
IT's Tottori Style推進プロジェクト

とっとり高度人材「燦然」プランで育成したIT人材等を活用し、市町村の地域特産品販路開拓を通じて、新たな雇用機会を創出し地域産業の活性化を図る。



2 今後のスケジュール (予定)

- 8月～9月 ・委託団体等においてIT人材を募集・採用
- 9月～11月 ・ネット販売システム・マーケティング戦略の企画
- 11月～12月 ・ネット販売システムの開発
- 1月～ ・ネット販売システム運用開始

【参考】「地域雇用創造実現事業」(国制度)の概要 (平成20年度の第1次補正予算で創設)

地域雇用創造協議会が実施する地域雇用創造推進事業(*)によって「育成した人材や求職者を直接又は再委託して雇用し産業・経済の活性化等に資する事業」を協議会が国に提案し、国がコンテスト方式で審査して効果の高いと認められる事業を採択し、当該事業を提案した協議会へ委託するもの。 ※本県では「とっとり高度人材「燦然」プラン」

⇒平成21年5月に全国で24地域が採択。昨年度採択済み地域(鳥取市を含む。)を加えると、現在53地域。

平成22年3月新規高等学校卒業生の求人状況等について

雇用人材総室
雇用就業支援チーム

高等学校の生徒数の減少により、来春卒業予定の高校生の就職希望者は減少（△173人）しているが、求人数が昨年に比べ減少（△691人）しており、7月末現在の県内就職希望者に対する県内求人倍率は0.43倍（△0.21ポイント）となっている。

こうした状況の中、労働局、県教育委員会、ふるさと鳥取県定住機構等の関係機関と連携して求人開拓に努めるほか、企業説明会を開催するなどの取り組みを実施し、一人でも多くの県内への就職と職場定着を図ります。

1 高校生の状況（鳥取労働局調べ）

(1) 卒業者及び就職希望者の状況

- ・ 卒業者数は、前年同期に比べ270人(4.5%)減少
- ・ 就職希望者に占める県内就職希望者の割合は、前年同期に比べ2.3ポイント減少

年月	項目 卒業(予定) 者数(人)	就職希望者数(人)			県内就職 (希望)率 (%) B/A
		A	県内就職 希望者 (人) B	県外就職 希望者 (人) C	
平成21年7月末	5,677	1,301	990	311	76.1
平成20年7月末	5,947	1,474	1,155	319	78.4
平成21年3月末	5,899	1,290	969	321	75.1

(2) 求人の状況

- ・ 求人数は、前年同期に比べ691人(47.3%)減少
- ・ 求人倍率は、前年同期に比べ0.4ポイント減少

年月	項目	求人数(人)			求人倍率(倍)		
		計 E	県内 F	県外 G	計 E/A	県内 F/B	県外 G/C
平成21年7月末		770	423	347	0.59	0.43	1.12
平成20年7月末		1,461	740	721	0.99	0.64	2.26
平成21年3月末		1,981	1,203	778	1.54	1.24	2.42

2 就職希望者への支援

(1) 求人要請

- 6月22日 県知事・県教育長・労働局長による経済4団体への求人要請
- 7月14日 県内企業約2,300社に高卒求人要請文を送付
- 8月21,24日 4市長・学校長・ハローワーク所長による地元経済団体への求人要請(新規)
- 8月24日 新聞広告(日本海新聞)による求人要請

(2) 求人開拓

- 県・県教育委員会・労働局担当課長による企業訪問等による求人要請
95社(8月17日現在)
- ※今後、県の就業支援員(6名)、ふるさと鳥取県定住機構の求人開拓員(3名)も企業訪問時に高卒求人要請を行うなど、幅広く求人開拓を継続

(3) 新規高卒求人事業所説明会

- 8月5~7日 求人事業所説明会を県内3カ所で開催(41社、464名参加)
- 11月中旬 新規高卒者就職面接会を県内3カ所で開催予定
- 来年2月 就職フェアを一般求職者、来春卒業大学生・高校生等を対象に県内3カ所で開催予定

甲陽ケミカル株式会社境港工場からの劇物（塩酸）流出事故について

産業振興総室
企業立地推進チーム
(医療指導課)

平成21年8月5日（水）午後3時57分、境港市竹内団地内の甲陽ケミカル株式会社境港工場から劇物（塩酸20%溶液）流出事故がありました。その概要等については以下のとおりです。

1 事故の概要及び県の指導事項等（医療指導課作成）

(1) 事故の概要

- ①甲陽ケミカル(株)境港工場において、グルコサミン製造過程で使用した塩酸（20%溶液）の貯蔵タンクから塩酸を抜き取る作業中に、配管が詰まったため、同工場の従業員が配管に圧力を加えたところ、タンク内の圧力が高まりタンク底部が破損。タンク内にあった塩酸1トンが工場内及び側溝に流出。
- ②流出した塩酸から塩化水素ガスが発生し、隣接工場の従業員10名が咽頭痛、気分不良を訴え受診。いずれも軽症、診察後帰宅。
- ③同工場の従業員が工場内及び道路の側溝を土のうで塞いだため、美保湾への流出はない。同工場の従業員が流出した塩酸を水で希釈し、塩化水素ガスの発生抑制を行った。
- ④県の指示により、同工場の従業員が側溝、工場内に停留している塩酸を中和剤（消石灰）により中和処理を行い、pHを確認の上、作業を終了。

(2) 県の指導事項及び甲陽ケミカル(株)の対応状況

県は事故発生の8月5日及び同月6日に立入調査を行い、以下のとおり指導を行った。

	指導事項	対応状況
1	毒物及び劇物取締法第16条の2に基づく事故届を提出すること	8月10日、西部総合事務所福祉保健局に提出済
2	劇物を貯蔵する場所に「医薬用外」及び「劇物」の表示を行うこと	8月10日改善済 → 西部総合事務所福祉保健局職員が確認
3	防液堤等の劇物が流出することを防ぐための措置を講ずること	1 薬品のタンクの周りに、耐腐食加工した鉄板による防護壁を設置済 2 塩化水素ガスの飛散防止を強化するため、塩酸薬液タンクに上屋、換気扇、ガス洗浄塔を設置（12月末までに実施）
4	事故の原因となった配管の詰まりが起これないように措置を講ずること	事故の原因となった塩酸タンクは、固形物が詰まらない構造のものに変更（8月31日までに実施）
5	毒物及び劇物取締法の遵守について組織体制を確立し、危害防止規定及び事故発生時対応マニュアルを作成すること	安全運転のための作業マニュアル及び事故発生時の通報マニュアルを作成（8月28日までに実施）
6	毒物及び劇物取締法の遵守について従業員の教育を行うこと	労働基準監督署と共同で、従業員の安全教育を実施（8月31日までに実施）
7	中和処理後物（余剰の消石灰等）は産業廃棄物として適正に処分すること	8月5日に産業廃棄物として処分済

2 鳥取県企業立地等補助金について

(1) 甲陽ケミカル(株)への補助金交付状況(今回の事故に係る設備投資分)

事業開始年月日	平成20年10月1日	
事業完了年月日	平成21年3月31日	
操業開始年月日	平成21年4月1日	
交付決定年月日	平成21年6月8日	
投下固定資産額	212,087千円	(建物108,780千円 機械装置103,307千円)
補助金交付額	31,812千円	
新規雇用者数	9人	

(2) 補助金に係る今後の対応方針

- 県補助金交付規則では、「対象事業に関し、法令、条例若しくは他の規則又はこれらに基づく知事の処分違反したときには交付決定を取り消すことができる。」こととなっている。
- しかしながら、今回の事故において現在の段階では県から「毒物及び劇物取締法」に基づく指導が行われているところであり、この指導に基づいて企業側も速やかに再発防止策を講じることとしていることから、慎重に経過を見守ることとする。

(参考) 甲陽ケミカル(株)会社概要

本 社 大阪市北区太融寺町1-17
設 立 昭和49年2月
資 本 金 8千万円
従業員数 53人(うち境港工場38人)(平成21年4月現在)
事業内容 キチンキトサン、グルコサミン製造
工 場 鳥取県境港市竹内団地217番地

三洋電機株式会社フォトニクス統括部の縮小等について

産業振興総室

企業立地推進チーム

8月3日(月)、三洋電機株式会社及び三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社(以下「三洋電機CE」という。)より、以下のとおり報告を受けました。

1 三洋グループの事業整理等に係る報告内容

昨年秋からの不況は一過性でなく、長い目で見たととき、カンパニー全体で事業整理等が必要と判断した。このため、三洋グループ全体で、「電子デバイス部門(鳥取、大阪)」、「コマーシャル部門(東京・群馬)」の事業縮小、及びグループ全体の「管理間接部門」のスリム化を実施することとなった。

(1) フォトニクス統括部の縮小

- 業績の悪化により、現在取り組んでいるLEDとレーザーの生産体制等について見直しを行う。
- その内容は、家電用一般LED生産を9月末に終了し、市場拡大が見込まれる照明用LEDの設計・開発にシフトする。また、レーザー生産について、CD、DVDが極度の不振であり、ブルーレイ対応(青紫)に特化するもの。
- これに伴い、従業員286名のうち約140名を県外他事業所(電池工場のある兵庫県淡路、ソーラーのセル工場のある島根県等)へ配置転換を行いたい。
- なお、45歳以上を対象に特別キャリア支援(希望退職)も実施する。
- 労働組合へは、7月31日に申し入れた。

(2) 管理間接部門のスリム化

- 三洋グループ全体として、事務管理機能の効率化のためスリム化を図る。
- これに伴い、45歳以上を対象に特別キャリア支援(希望退職)を実施する。
- 「三洋電機CE」においても、三洋グループの対応に沿ってスリム化を図る。

2 県からの要請事項

- 現社員の雇用は、極力維持していただきたい。
- 可能な限り、三洋電機CEでの受け入れも検討していただきたい。
- 中長期的には、新エネルギー関係等、今後の成長が期待できる分野の事業展開を検討していただきたい。

水工場増設に係る笠原水環境影響評価委員会の設置について

産業振興総室
企業立地推進チーム

サントリー天然水奥大山ブナの森工場の増設可能性を判断するため、工場の増設が周辺地域の水環境に与える影響を評価することを目的に、水工場増設に係る笠原水環境影響評価委員会を設置し、第1回委員会を以下のとおり開催しました。

1 日 時 平成21年8月3日(月) 午後1時30分～3時30分

2 場 所 江府町山村開発センター

3 委員会の概要

(1) 委員

氏 名	役 職 等	備 考
道上 正規	鳥取大学 名誉教授	河川工学
細井 由彦	鳥取大学 教授	水環境工学
石賀 裕明	島根大学 教授	環境地質学
檜谷 治	鳥取大学 教授	地下水水理学
岡崎 誠	鳥取環境大学 教授	環境政策
小玉 芳敬	鳥取大学 准教授	自然地理学

(2) 事務局 江府町と鳥取県で構成する事務局を江府町に置く

(3) 検討内容

工場の増設に伴う揚水量の増加が、笠原地区及び周辺地域の水環境に与える影響について評価。具体的には、以下の項目について評価を行う。

○上水道への影響(井戸、湧水)

下蚊屋地区簡易水道水源、休暇村大山鏡ヶ成の上水道水源、笠原水道水源 等

○近隣湧水への影響

下蚊屋集落湧水利用自家水道 等

○河川への影響

本谷川、細谷川 等

○鳥ヶ山周辺の山林への影響

○鏡ヶ成湿原への影響

4 今後の予定

第2回委員会(平成21年12月～1月頃) 調査結果の中間報告等

第3回委員会(平成22年6月頃) 調査結果の報告、評価等

※検討及び評価が必要な場合、随時追加して開催

(参考) 増設が可能な場合の計画概要

- ・増設場所 現工場敷地内
- ・新規雇用者数 約20名
- ・年間生産能力 3,000万ケース (現生産能力 1,500万ケース)
- ・揚水箇所 現工場周辺
- ・年間揚水量 80万m³/年 (現揚水量 50万m³/年)

鳥取県企業誘致貢献者に対する知事表彰について

産業振興総室
企業立地推進チーム

株式会社 LASSIC からの情報提供を発端に、アイシーコム株式会社の企業誘致が実現したことから、鳥取県企業誘致貢献者表彰制度実施要綱に基づき、8月10日に知事表彰を行いました。なお、今回の表彰が制度制定後初めての表彰です。

◆鳥取県企業誘致貢献者表彰制度の概要

鳥取県への新規の企業立地につながる情報提供を行った者を表彰することにより、本県への企業立地促進を図ることを目的として平成20年度に創設した制度。受賞者には、表彰状と副賞10万円を授与する。

※今回の受賞にあたり、株式会社 LASSIC は副賞10万円の受取を辞退されており、その代わりとして記念品（麒麟獅子のステンレス額絵）を授与した。

1 鳥取県企業誘致貢献者表彰の概要

- (1) 日 時 8月10日(月) 午後1時40分～1時55分
- (2) 場 所 県庁第4応接室(本庁舎3階)
- (3) 被表彰者 株式会社 LASSIC
- (4) 出席者 代表取締役社長 若山 幸司、代表取締役副社長 西尾 知宏 他

2 株式会社LASSICの概要(被表彰者)

- (1) 設 立 平成18年12月26日
- (2) 所 在 地
【本社】鳥取市若葉台南7丁目5番1号(鳥取県産業振興機構内)
【データセンター】鳥取市湖山町北2丁目(セコム山陰ITラボ内)
- (3) 資 本 金 2千万円
- (4) 代 表 者 代表取締役社長 若山 幸司、代表取締役副社長 西尾 知宏
- (5) 従 業 員 数 23名
- (6) 事業の内容 ITソリューション事業、営業アウトソーシング事業、営業プロセスの再設計、メンタルケアサービス ほか

3 アイシーコム株式会社の概要(誘致企業)

- (1) 設 立 平成19年10月
(平成21年2月12日、鳥取県への進出協定調印)
- (2) 所 在 地
【本社】東京都中央区銀座2丁目12-3 ライトビル5階
【鳥取事業所】鳥取市若葉台南7丁目1-1(鳥取県産業技術センター内)
- (3) 資 本 金 15万円
- (4) 代 表 者 代表取締役 工藤 慎太郎
- (5) 従 業 員 数 18名
- (6) 事業の内容 WEBサイト企画製作運用、ECサイト企画製作運用、システム開発、農業事業

※6月に営農事業とECサイトの運営が開始され、事業活動を本格化した。

農商工連携促進ファンド事業の実施状況について

産業振興総室
新事業開拓チーム

農商工連携促進ファンド事業の第1回審査会を開催し、下記のとおり採択者を決定しました。今後は、「農商工こらぼネット」の活用等により、案件をさらに生み出していくとともに、事例検証により地域への波及効果の高い農商工連携による取り組みを促進していきます。

1 平成21年度第1回募集の結果

- (1) 審査会開催日 7/24・27 (募集期間: 4/13～6/30)
 (2) 採択状況 申請件数 15件 採択数 12件

事業区分	連携体 農林漁業者/商工業者等	事業名
「売れる」新商品開発	鳥取県漁協/ 海産物のきむらや	未利用海藻アカモクの商品開発及びアカモク由来機能成分の評価
	J A鳥取中央農協/宝福一	優れた機能性を有する「黒らっきょう」を利用したドレッシングや飲む酢など高付加価値新商品の開発
「元気が出る」生産システムづくり	井中組/鳥取メカシステム	安定した黒らっきょう製造蒸し装置の開発
「打って出る」販路開拓	丸橋材木店・高間潔行/ 小椋設計事務所	近くの山の木で健康で長持ちする家を創ろう

○ その他 8件

2 今後の予定 第2回公募8/24～12/18 [審査会: 1/22(予定)]

「農商工こらぼネット」での情報共有、マッチング支援等による更なる案件の創出、成功事例の検証、支援策の拡充等による付加価値の高い農商工連携の取り組みを促進する。

(参考)

1 「農商工連携促進ファンド事業」の概要

農商工連携により県産の農林水産物等を活用して「食のみやこ鳥取県」の魅力ある新商品等の開発、付加価値を高めて県内外に打って出る取組等を支援する。

①農商工連携事業

対象者	1) 創業、経営の革新を行う中小企業者と農林漁業者の連携体 2) 自ら事業を行うNPO等と農林漁業者の連携体
内容	1) 「売れる」新商品開発事業 (助成限度額500万円、助成率2/3、24月以内) 2) 「元気が出る」生産システムづくり事業 (同200万円、2/3、12月以内) 3) 「打って出る」販路開拓事業 (同100万円、2/3、12月以内)

②農商工連携支援事業

対象者	・連携体の支援事業を行う県内の農協・商工会議所・商工会・NPO等
内容	・展示会出展、セミナー開催等 (助成限度額300万円、10/10、12月以内)

③事業実施主体 財団法人鳥取県産業振興機構 [基金(25億円)の運用益(約40,000千円/年)]

2 「農商工こらぼネット」の概要 (平成21年4月創設)

県総合事務所、商工団体等が相談窓口となって、そのネットワークを駆使し、農林漁業者・中小企業者双方が持つ資源やニーズを結び付け、専門機関の協力や支援策等のコーディネートにより、付加価値の高い新たな取り組み(ビジネス)の“きっかけ”を生み出す仕組み。(定期的な情報交換も開催)

地域産業プロデューサー活用支援事業の実施状況について

産業振興総室
新事業開拓チーム

7月16日（木）に評価委員会を開催し、下記のとおり採択者を決定しました。今後、各提案者の地域産業形成に向けた取り組みを積極的に支援します。

1 審査結果

申請 3件 採択 3件

2 取組内容

提案者	提案名
トットリプロダクツ協議会 【共同申請者】 ㈱西山家具他 11社 【プロデューサー】 白岡 彪氏	鳥取県の家具産業と和紙産業との「連携」と「融合」による新しい産地産業（インテリア・エクステリア関連）の創生
㈱太田商店 【共同申請者】 ㈱田嶋工業他 2社 【プロデューサー】 福井勇吉氏	伝統的地域資源を活かす！鳥取県の食文化を創造するプロジェクト
新産業共通基盤 【共同申請者】 ㈱井中組他 2社 【プロデューサー】 福井 功氏	新産業共通基盤事業推進による新産業創出事業 （中部の企業、生産者等が農商工観連携を促進させ、生産者の収益向上、地域の経済基盤強化を図る取り組み）

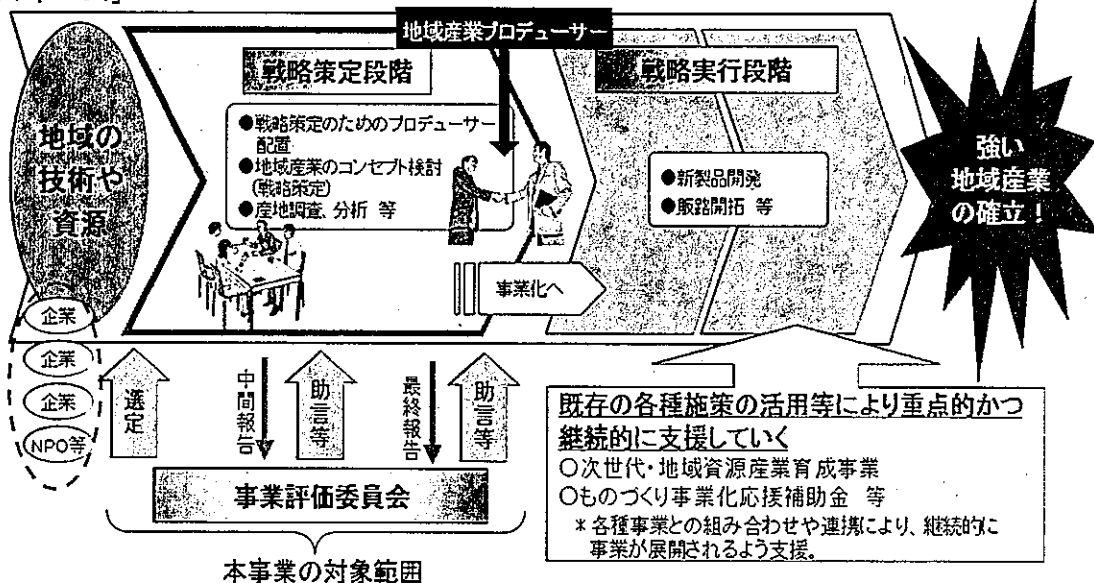
3 今後の支援

地域産業の形成には、継続した取り組みの必要性の他、地元市町村の協力、規制に対する対応等が予想されるため、本事業における補助金交付による支援の他、各種施策の活用や相談に応じ、柔軟な支援を行っていきます。

4 その他

8月25日（火）に地域産業の活性化に関する「鳥取力創造 伸びのびトーク」を予定しています。

【事業スキーム】



※当初予算額：9,579千円

鳥取県東京ビジネスオフィスの移転オープンについて

産業振興総室
新事業開拓チーム

鳥取県東京ビジネスオフィスは、県内企業の首都圏における事業活動を支援するため、平成12年より東京都港区御成門駅近隣に設置されています。

本年9月上旬に、JR新橋駅銀座口から徒歩1分の好立地の鳥取県東京アンテナショップ入居ビルに一体的に整備することにより、オフィスの利便性と機能性を高めることを目的として、東京都港区2丁目SNTビル3階に移転オープンすることとなりました。

また、オープンに伴い、以下のとおりオープニングイベントを開催します。

1 日時

9月3日(木) 午前10時30分から午後4時まで

2 場所

鳥取県東京ビジネスオフィス(東京都港区新橋二丁目19-4 SNTビル3階)

3 内容

(1) 「鳥取力創造 伸びのびトーク」(午前10時30分～11時20分)

ビジネスオフィス利用者等県内企業と県知事との意見交換会

テーマ:「～鳥取県ビジネスオフィスからの挑戦～首都圏での県内企業の事業展開の方向性」他1テーマ

(2) 開所式(午前11時30分～正午)

平井県知事と関係者によるテープカット

(3) 内覧会(正午～午後4時) *一般公開

【県東京ビジネスオフィス概要】(H21当初予算:東京ビジネスオフィス新設費 50,637千円)

1 施設の内容

区分	利用金額	備考
レンタルブース(長期)	1月につき 63,000円	総ブース数:8ブース 1ブース面積:3.3㎡ 商談室(6人掛け) 複写機/FAX:実費利用
レンタルブース(短期)	1時間につき 420円	
	1日につき 3,150円	
商談室	無料	

*レンタルブースの区分……長期:1ヶ月以上、短期:1ヶ月未満

2 利用対象者

(1) レンタルブース(長期)……首都圏に営業拠点が無く、今後首都圏での具体的事業展開を有している県内中小企業者

(2) レンタルブース(短期)及び商談室……鳥取県内に事業所を有する企業及び各種団体等
(利用予約には、予め会員登録が必要)

3 その他

現在、オフィス利用者を以下のとおり募集中です。

(1) レンタルブース(長期)……募集数4ブース分

(2) レンタルブース(短期)及び商談室利用に係る会員登録

とっとり産業フェスティバル2009の開催について

産業振興総室
産学金官連携チーム

- 1 事業名 「とっとり産業フェスティバル2009」
- 2 開催目的 県内の大学等の研究成果や県内企業の製品・技術を広く紹介し、産学官連携による研究開発及び企業の販路拡大を促進し、県内産業の活性化を促進する。
- 3 開催日時 平成21年9月13日(日) 午前10時～午後7時30分
14日(月) 午後1時～午後4時(商談会のみ)
- 4 場 所 <13日>とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町101-5)
<14日>ウェルシティ鳥取(鳥取県鳥取市扇町176)
- 5 主 催 とっとり産業フェスティバル実行委員会
〔鳥取大学、鳥取県、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校、鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、鳥取県産業振興機構、鳥取県産業技術センター、山陰合同銀行、鳥取銀行、鳥取市、鳥取大学振興協力会〕
- 6 来場予定者 県内の企業・高等教育機関・金融機関・商工団体・行政の関係者及び一般参加者
- 7 経 緯 平成11年度から開催している産学官連携フェスティバル(平成20年度第10回)と平成6年度から開催している産業技術フェア(平成20年度第15回)を本年より一元化して開催
- 8 来場者数 2,500名(予定) (平成20年度開催 2,100人/日)
- 9 プログラム(予定)

【9月13日(日)】

<式典の部> 第1会議室

○開演・主催者挨拶 (10:00～10:15)

○基調講演 (10:15～11:15)

講師：株式会社ニコン 顧問 エグゼクティブフェロー コアテクノロジーセンター
富野 直樹 氏

演題：「ニコンのカメラ開発・映像事業に携わって」

○経営革新大賞表彰式 } 経営革新計画の取り組みにより、他の模 (11:30～12:00)

○経営革新大賞受賞事例発表 } 範となる企業の表彰・発表 (13:00～14:00)

○山陰発技術シーズ発表会 in 鳥取一大学・公設試等の研究成果口頭発表 (14:00～17:30)

<展示の部>

○研究シーズポスターセッション—大学・公設試等の研究成果 約120点 (10:00～17:30 フリースペース等)

○県内企業展示会—企業の商品・技術展示 24小間 (10:00～17:30 展示室)

<交流会の部>

○産学官連携交流会 (18:00～19:30 パレットとっとり)

[同時開催]

○秋の手づくりまつり—子ども向けものづくり教室 (10:00～17:30 第2会議室)

○会場内スタンプラリー・豪華景品抽選会 (10:00～17:30 会場全体)

○日本のまつり・2009鳥取1カ月前イベント

・麒麟獅子のビッグカレー振る舞い (14:00～15:00 第2会議室)

・「まつり弁当」企画・審査会 (10:00～12:00 第2会議室)

○とっとり地産地消市場コーナー (10:00～17:30 正面玄関外側テント)

【9月14日(月)】

<商談会の部>

○鳥取県進出企業と県内受注企業との商談会 (13:00～16:00 ウェルシティ鳥取)

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について

市場開拓室

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について、報告します。

1 アンテナショップ効果事例

- ・アンテナショップに都内の会社を招待、又は営業を行った結果、以下の成果がありました。

【商談成立したもの】

都内金融会社のギフト商品として、洋菓子の採用が決定

都内高級料理店で鳥取和牛・トトリコ豚の採用が決定

【商談継続中のもの】

商談相手	商談品目
通販ネット会社	しいたけ加工品、水産加工品
総合食品卸会社	らっきょう
食品スーパー	らっきょう、トマトジュース、トマトケチャップ、エゴマ油等
都内高級料理店	地酒、梨シャーベット、白ねぎ

- ・県内の高校生がアンテナショップに出向き、県産品PRや販売体験など、体験学習の場として活用

2 取組状況

〈店舗魅力・認知度向上〉

- ・テレビ・雑誌等でアンテナショップを紹介
(日経グローバル(7/20号)、フジテレビ系全国放送「とくダネ!」(7/28放送)等)
- ・8月4・5日に鳥取県アンテナショップ「にほんばし鳥根館」で開催された中国5県観光物産フェアに出店
- ・東京ビジネスオフィスのアンテナショップ入居ビル3階への移転に伴い、商品の充実を図るため、3階にアンテナショップのストックスペースを設置

3 アンテナショップ開店1周年記念キャンペーンの開催について

期 日：8月17日(土)～9月12日(土)

内 容：〈物販店舗〉週替わりお勧め商品の特売、購入者プレゼントなど
〈レストラン〉トットリーネオリジナルお菓子のプレゼントなど

◆限定イベント①

期 日：8月29日(土)・30日(日)

内 容：先着100名様に来場者プレゼント

〈物販店舗〉鳥取県の消費量日本一の商品(梨・ケチャップ・カレー関連)の特売、トットリーネオリジナルスイーツの限定販売 など

〈レストラン〉2日間限定コースメニューの提供(昼・夜各30食限定)

◆限定イベント②(鳥取和牛フェア)

期 日：9月7日(月)～12日(土)

内 容：〈物販店舗〉和牛関連商品の販売

〈レストラン〉和牛を使ったメニューの提供、和牛メニュー注文者に抽選で和牛肉セットをプレゼント(5名様)

4 アンテナショップ1周年広告の掲出(元気な鳥取県産業推進プロジェクト(枠予算))

アンテナショップの意義、役割、これまでの成果などについて県民及び事業者の方へPR、広報することにより、更なるアンテナショップ活用の契機とするため、日本海新聞に広告を掲出。

【事業概要】

■掲載日：8月25日(火) ■掲載紙：日本海新聞

■段 数：全10段

■内 容：アンテナショップの意義・戦略、関係者(アンテナショップ運営事業者、出品者等)のコメント、アンテナショップを活用して活性化した効果事例(販路開拓等)・新商品開発事例の紹介、1周年記念イベントの告知 など

■所要額：1,500千円

5 運営状況

(1) 来客実績 (8/29(金)から 7/31(金)まで)

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業 日数	売上高 (千円)	催事売上高 (千円)	来店客数	営業 日数	売上高 (千円)
8月	2,117名	3日	2,701	73	149名	2日	900
9月	8,404名	30日	10,176	227	2,321名	24日	6,265
10月	5,204名	31日	6,383	100	1,972名	26日	6,441
11月	4,657名	30日	6,244	145	1,943名	24日	7,504
12月	4,646名	30日	7,191	147	2,061名	25日	8,151
1月	3,653名	28日	4,844	0	1,713名	22日	7,162
2月	4,431名	28日	6,597	114	1,649名	23日	6,846
3月	4,550名	31日	6,093	0	1,689名	25日	6,823
4月	4,737名	30日	5,925	62	1,731名	25日	5,925
5月	6,309名	31日	7,590	87	1,822名	23日	6,410
6月	6,159名	30日	7,701	212	2,203名	26日	7,489
7月	6,206名	31日	7,700	181	2,092名	26日	7,345
累計	61,073名	333日	79,145	1,348	21,345名	271日	77,261

注) 催事売上高は内数

(2) 7月の人気商品・メニュー

物 販 店 舗		レ ス ト ラ ン	
1位: 大山ソフトクリーム	380円	ランチ: 週替わりパスタセット	1,000円~
2位: 打吹公園だんご	900円 (10本) 500円 (5本)	ディナー: 月替わりトットリーネ コース	4,200円
3位: 砂丘らっきょう漬け (ピリ辛)	1,050円	/	/
4位: 砂丘らっきょう漬け (甘酢)	1,050円		
5位: 干ホタルイカ	525円		



体験学習 (米子南高校)

郵便局における「食のみやこ鳥取県」、「ようこそようこそ鳥取県」のPRについて

市場開拓室

1 概要

鳥取自動車道の開通等を契機に、グレーター近畿を中心としたエリアに対し「食のみやこ鳥取県」をPRするため、9月の1ヶ月間に全国にネットワークを持つ郵便局を活用したキャンペーンを展開する。併せて、「ようこそようこそ鳥取県」さらには「日本のまつり・2009 鳥取」のPRも行う。

また、キャンペーンを記念して、京都中央郵便局においてオープニングイベント、物産展を開催する。

2 内容

(1) 郵便局情報誌「モヨリノ」への広告掲載・紹介記事掲載(全国エリア)

全国約 24,000 局のネットワークを持つ郵便局の情報マガジン「モヨリノ」(250 万部、季刊)に「食のみやこ鳥取県」の広告及び紹介記事を掲載して鳥取県をPR

(2) ポスター・パンフレット掲示(各エリアの郵便局に掲示)

- ・ 掲示期間 9月(1ヶ月間)
- ・ 内 容 各エリアにおいて郵便局にポスター、パンフレット等を表示し「食のみやこ鳥取県」PR。さらに関西エリアでは、割引特典付のガイドブックを配布し鳥取県への誘客を図る。

エリア	主なPR内容	パンフレット(ガイドブック) 配布及びポスター掲示	その他
関西	食のみやこ鳥取県・ ようこそようこそ鳥 取県	掲示局数: 592 局 →鳥取県の食の施設割引特典 を掲載し、鳥取県への誘客 を図る	京都中央郵便局には通行する人向 けにガラス面にフィルムポスター も掲示
東京	鳥取県東京アンテナ ショップ	掲示局数: 62 局(港区内中心)	京橋郵便局、赤坂郵便局にはガラス 面にフィルムポスターも掲示
鳥取県内	日本のまつり・20 09鳥取	掲示局数: 33 局	

3 オープニングイベント、鳥取県物産展の開催

(1) オープニングイベント

9月2日(水) 京都中央郵便局において、イベント開催を記念してオープニングイベント実施(トリピー(着ぐるみ)等によるパンフレット、粗品配布等)

(2) 物産展

- ・ 日 程 9月2日(水)～4日(金)
- ・ 場 所 京都中央郵便局ロビー(JR京都駅前)
- ・ 出展事業者 (社)鳥取県物産協会
- ・ 出展商品 二十世紀梨ドリンクなど梨加工商品、水産加工品、らっきょう、鬼太郎関連商品、二十世紀梨(ふるさと小包)
- ・ そ の 他 毎日、お買い上げ者に先着で粗品進呈